

平成24年2月2日  
総務局

## 東京都防災会議地震部会（第4回）の開催結果について

標記会議の結果について、下記のとおりお知らせします。

### 記

#### 1 日時

平成24年2月1日（水）午前10時から午後12時10分まで

#### 2 場所

東京都庁第一本庁舎南塔33階 特別会議室S5

#### 3 開催結果

- (1) 想定地震に関する地震動計算手法及び被害想定項目に用いる手法等について、専門委員による討議を行いました。（別紙参照）
- (2) 次回の地震部会は、3月を予定しています。

※ 1週間後を目途に、議事概要を東京都防災ホームページに掲載する予定です。（<http://www.bousai.metro.tokyo.jp/japanese/tmg/meeting/index.html>）

問い合わせ先 総務局総合防災部防災管理課 電話 03-5388-2537
--------------------------------------------

## 東京都防災会議地震部会（第4回）における討議の骨子

### 1 想定地震に関する地震動計算手法等について

- フィリピン海プレートの位置が、従来よりも浅いという最新の知見を用いて計算するため、前回の被害想定結果より震度6強の範囲が広がるとともに、震度7が出る可能性が高い。
- 最終的な地表地震動を計算する手法として、50m間隔で地盤増幅度が存在する地区では、その地盤増幅度を使用する。なお、計算では地表地震動に反映されにくい崖などについては定性的な評価を行う。
- 元禄関東地震による津波の想定に当たっては、海溝軸での連動についても検討する。

### 2 被害想定項目に用いる手法について

- 火災の被害想定では、地域防災力の効果がわかるような想定を検討する。
- ライフラインの復旧日数について、東日本大震災を受けた見直しを踏まえながら、できる限り定量的な想定を検討する。
- 地下鉄への津波浸水可能性の評価に当たっては、地下鉄と連結する地下街についても、定性的な評価の実施を検討する。